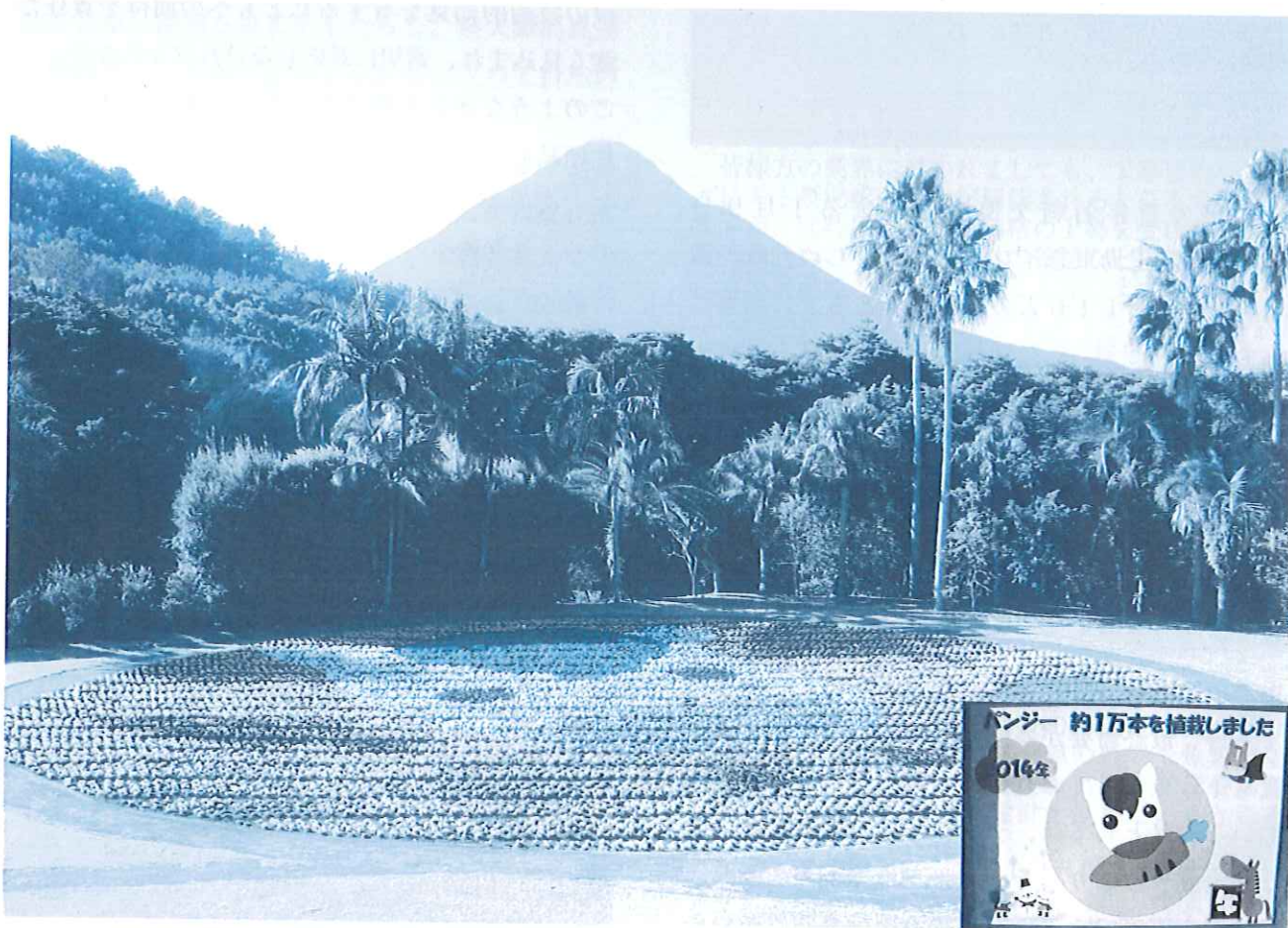




# 冷凍空調会報

No.151  
2014.2

- 平成26年新年名刺交換会
- 冷凍空調高圧ガス保安大会
- 技能祭参加



—フラワーパークかごしま花広場（指宿市）—



# 平成26年新年名刺交換会



恒例の新年名刺交換会が、去る1月9日（木）、鹿児島東急インで会員をはじめ行政、業界関係者等約110人の参加のもと盛大に開催されました。

はじめに前田会長が賀詞を述べた後、「平成26年のわが国の経済は、4月からの消費税率引き上げや欧米等の外国経済の動向に留意する必要があるが、年度を通して見れば前年度に引き続き堅調な内需に支えられ景気回復による好循環が徐々に実現していくと見込まれている。また、鹿児島の県内経済もみても、観光面が高水準を維持する等、最終需要が底堅く推移している中で、生産も下げ止まっており、持ち直しの動きが広がっている。私としては、デフレからの脱却と自律的な経済成長により、その効果が地方へも波及し、好循環を実感できることを強く期待する。このような状況下であるが、協会では今年も組織の充実強化をはじめ、冷凍空調設備の自主保安の確保による事故の未然防止と適正な工事施工が図られるよう、高圧ガス保安法関連法規の周知・啓蒙、冷凍空調施設工事認定の推進、技能者育成などに取り組むこととする。

また、改正フロン法が平成25年6月に公布された。従来の冷媒フロン類の回収・破壊にとどまらず、フロン類及び業務用冷凍空調機器のユーザー等に対して、フロン類の使用の合理化や適正化等を求めることにより、フロン類のライフサイクル全体での総合的な対策を推進するものであるが、冷凍空調機器工事の専門事業者また漏えい点検の技術的知見を有する私どもへの期待や責任が強く見込まれ、適切に対応しなければならない。このような状況も踏まえつつ、今年も、会員が一致団結して、保安団体としての更なる使命を果たし、業界の発展と地位の向上を目指し、努力していく。」と挨拶。

続いて、成田消防保安課長、森鹿児島市長（藤山建築部長代読）、また顧問の柴立県議、上門市議からそれぞれ祝辞をいただき、上橋県土木部営繕室長の乾杯の音頭で祝宴と相成り、新年の決意も新たに会員等による意見交換、懇談が和気あいあいの中で、おこなわれた。

最後に今年一年のいやさかを願い、柴立県議の一本締めで会を閉じました。



# 新年名刺交換会 祝 辞（要旨）

鹿児島県危機管理局消防保安課長

成 田 昭 浩

平成26年の新春を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げますとともに、一言お祝いを申し上げます。

昨年は、全国各地で大雨や台風による自然災害が発生いたしました。本県におきましても、台風24号が襲来した与論島、沖永良部島では住宅や農畜産業に深刻な被害をもたらし、最大瞬間風速が秒速53.5mを記録するなど、改めて自然の驚異を痛感したところであります。

さて、貴協会におかれましては、これまで冷凍空調設備に係る啓発、技能士への講習会など、高圧ガスの保安の確保に積極的にとり取り組んでいただき、また、会員の皆様方には、かねてから本県の高圧ガス保安行政の推進に多大な御支援・御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

冷凍空調施設の高圧ガス事故につきましては、全国的に平成17年以降、年々増加傾向にある中、本県におきましても、幸いにして負傷者を伴うような事故ではありませんが、昨年は冷媒漏れが5件と過去二番目に多い事故が発生しました。

県としましては、皆様方の御協力をいただきながら、今後とも、講習会や立入検査等を通じて、高圧ガスによる災害の未然防止と事業者の安全意識の高揚に、一層努めてまいりたいと考えております。

引き続き、会員の皆様方におかれましても、協会を中心に一致団結されて、自主保安の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、鹿児島県冷凍空調工業保安協会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝・御活躍を祈念しまして、祝辞といたします。

鹿児島市長

森 博 幸

平成26年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

一般社団法人鹿児島県冷凍空調工業保安協会におかれましては、高圧ガス保安法に基づく自主保安の確立や各種技術者の育成、冷媒フロンの回収に向けた対策などを通して、地域社会の発展に貢献しておられますことに深く敬意を表しますとともに、かねてから鹿児島市政に対しまして、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに心から感謝を申し上げます。

さて、我が国の経済は、昨年来、政府による大規模な財政出動など、様々な対策が進められたこともあり、少しずつではございますが、回復の傾向にあるようでございます。

皆様方の業界におかれましても、工事量の増加などによる景況感の改善が期待されるところでございますが、同時に、原材料価格の上昇を受けたコスト対策や、担い手となる人材の確保など、様々な課題に対応を重ねておられることと存じます。

このような中、本市におきましては、第五次総合計画で描いた“心の豊かさ”、“都市の豊かさ”、“自然の豊かさ”を、一つひとつかたちにし、真に豊かさを実感できるまちを創り出していくため、全力を挙げて取り組んでいるところでございます。

建設分野におきましては、公共建築物3,800棟について、中長期的な視点に立った保全計画を作成し、これに基づく予防保全的な維持管理等により長寿命化を図る「公共建築物ストックマネジメント事業」に取り組んでいるほか、学校の校舎などに、太陽光発電をはじめとする環境対策技術を導入するなど、省エネルギーや環境に配慮した取組も推進しております。

また、空調工事関係では、桜島の降灰対策として、市立の小、中、高等学校の普通教室にクーラーを整備するほか、郡山体育館の新築や魚類市場の再整備、仮設市場棟の新築、市役所本庁舎別館A棟の耐震改修に向けた設計を進めているところでございます。

鹿児島市は、今年、市制125周年、また合併により新生鹿児島市が誕生してから10周年という大きな節目を迎えます。この節目の市政を預かる者として、薩摩の先人のごとく進取の気風を持ち、本市の取組の一つひとつが、明るい未来の布石となるよう全力を傾けてまいりたいと考えております。皆様方には、本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

今年「午年」でございます。年頭にあたり、鹿児島県冷凍空調工業保安協会の益々のご発展と、新しい年が、皆様にとりまして、輝かしい未来に向かって疾走する馬のごとく、飛躍の年となりますよう心からお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。

# 冷凍空調高圧ガス保安大会



前田会長挨拶

平成25年度の冷凍空調高圧ガス保安大会が去る10月19日（土）、鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で、会員をはじめ行政関係者など約70名の参加のもと、開催されました。

冒頭、前田会長が「平成24年における全国の高圧ガス関係の災害に係る事故は、379件となり、前年比で約2割減少しているが、これらの事故に伴う人的被害は67名と依然と高い水準にある。事故の内訳は、製造事業所における事故が260件、移動中の事故が27件、消費先における事故が79件、その他事故が13件となっており、前年に比べ製造事業所の事故が減少している。次に、事故原因を見ると事故総数379件、約4割が設備の設計・製作不良、維持管理不良等の設備上の要因による。一方、死傷者数を見ると、設備の維持管理不良（11名）、組織体制の不良（12名）、ヒューマンファクター（17名）の要因によるものが計40名の6割を占めている。このような事故発生の状況を鑑みると、高圧ガスの一層の保安の確保や事故の防止に万全を期することが強く求められている。冷凍空調施設等の施工・管理に当たり安全作業に努めるとともに、今後とも高圧ガスの事故が発生しないよう、法令の遵守はもとより従業員に対する教育訓練の実施や定期自主点検の徹底など、より一層の自主保安体制の充実に努めていただきたい。

また、フロン回収破壊法の抜本改正により「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に名称を変え、6月に公布され、2年以内に施行されることになっている。新しい法律では冷凍空調業界の役割や責務への大きさが期待され

る業界として工事施工・施設の管理等について適切に対応することが求められフロン使用時の漏えい防止にも取り組んでいただくようお願いしたい。」と挨拶。続いて、特別功労者と優良従業員の表彰、高圧ガス保安活動促進週間についての説明、県消防保安課の上野主査の高圧ガス関係の講話があり、また、日設連大沢事務局次長兼業務部長から「改正フロン法について」と題して講演が行われました。

## 表彰

（敬称略）

### ◆特別功労者 8名

(株)九州プラント	石 神 則 人
旭工業 (株)	川 畑 宏 二
(有)三葉工業	葉 山 勝 年
(有)協和冷熱	
(株)鶴田機工	鶴 田 光 二
旭機工 (株)	
(有)創建設備	松 下 誠
中央工業 (株)	

### ◆優良従業員 6名

一 山 剛	(株)岩崎電設
岩 崎 憲 二	( 〃 )
上 栗 信 行	(有)協和冷熱
迫 田 光 廣	(南菱冷熱工業 (株))
永 長 真 治	(株)カナヤ
吉 永 裕 策	(図南工業 (株))



# 平成25年度 技能祭への参加

平成25年度の「鹿児島県技能祭」が、11月16日（土）、17日（日）に鹿児島市のかごしま県民交流センターで開催されました。

この技能祭は、技能の素晴らしさ、楽しさを体感していただくことを目的に鹿児島県職業能力開発協会の主催で、例年開催されております。

当協会は、3年目の参加となり、冷凍空調の技術やフロンについて多くの方に理解を深め、業界への認識の向上を図るため、委員会を組織し、展示内容などについて検討を加え、次のような内容で実施いたしました。

- (1) 体験コーナー（エアコンの配管（銅管）曲げ加工を体験させる。）
- (2) 展示品（①エアコンの冷却システム図、②冷凍空調技能士検定課題作品、  
③昭和30年代の冷凍機）
- (3) DVD放映とクイズ（「フロンってなあに？」DVD放映  
フロンについてのクイズ）やアンケート

当日は、多くの親子づれが来場し、銅管の曲げ加工の体験、冷却システムやエアコンの仕組み図などの展示品を見てもらったり、アンケートも兼ねてフロンのクイズにも挑戦してもらい、652人からの回答がありました。

「あなたが日頃、環境について考えていることは？」の質問に「ゴミの分別」「節電」「エコバックの使用」「温暖化の影響が気になる」「地球を汚さないようにゴミの分別などに気を付けている」「子どもたちの未来に負担を少しでも残さないように」等の回答が多く寄せられました。次代を担う子どもたちもクイズに回答することで、フロンはもとより省エネへの取り組み、地球の保全や環境問題への認識が深まったようであります。

また、今年も鹿児島県冷機協会より各メーカーの営業促進用グッズを多数、提供していただき回答者へのプレゼントとして使用させて頂きました。有り難うございました。



# 会 員 情 報

●社名を変更しました。

事業所名	代表者名	住 所	TEL
(新)三菱重工冷熱(株) 南九州営業所 (旧)三菱重工空調システム(株) 南九州営業所	吉田 勝幸	〒891-0115 鹿児島市東開町4-22	099-260-5500

●住所・電話を変更しました。

事業所名	代表者名	住 所	TEL
(株)イーエヌ工業	茶園 元之	〒891-1206 鹿児島市皆与志町2552-2	099-238-2839
(有)翔南空調	山口 輝洋	〒890-0036 鹿児島市向陽2-23-1	099-297-5373

●代表者を変更しました。

事業所名	代表者名	住 所	TEL
(有)下迫田冷凍設備	(新)下迫田 信哉 (旧)下迫田 良信	〒896-0037 いちき串木野市別府3375-1	0996-32-5799
(株)九電工鹿児島支店	(新)城野 正明 (旧)武井 秀樹	〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1-1	099-256-2166

●会員加入のお願い

当協会では、組織の拡充・強化を図るため、役員全身体制で会員加入の促進に取り組んでおります。会員の皆様の知人などで加入を希望される方があれば、是非事務局にご連絡いただきますようお願いいたします。

## 地方会員懇談会 (川薩地区)

1. 日 時 平成25年11月6日(水) 18:00～
2. 場 所 川内ホテル(薩摩川内市)
3. 出 席 者 会員7名、協会役員3名
4. 懇談会内容
  - (1) 会長挨拶
  - (2) 自己紹介
  - (3) 協会の事業概要説明  
改正フロン法の説明
  - (4) 意見交換
    - ア. 改正フロン法への対応について
    - イ. フロンの回収処理について
    - ウ. 会員加入の取組について
    - エ. 会員の業況について など



なお、地元自治体における冷凍空調専門事業の活用等については、これまでも地元会員から要望の声が強いこともあり、昨年の鹿屋市に引き続き薩摩川内市に対して地元会員にも同行を願い、要望書の趣旨説明を行い、要望内容の実現について要望活動や意見交換をおこなった。

# フルオロカーボン漏えい点検資格者講習会

1. 講習会：平成25年11月20日（水）
2. 場 所：ポリテクセンター鹿児島
3. 受講者：41人（うち県外2人を含む）
4. 概 況

フルオロカーボン漏えい点検資格者講習会第147回講習会が、鹿児島市で開催されました。

（一社）日本冷凍空調設備工業連合会（以下「日設連」と略）では、不活性フルオロカーボン冷媒とする業務用冷凍空調機器の使用時漏えいを削減するため、

（社）日本冷凍空調工業会制定「冷凍空調機器フルオロカーボン漏えいガイドライン（JRA GL-14）」を基に「業務用冷凍空調機器フルオロカーボン漏えい点検資格者規程」及び「業務用冷凍空調機器フルオロカーボン漏えい点検・修理ガイドライン（JRA GL-01）」を平成22年10月に制定いたしました。

この漏えい点検資格者制度は上記のガイドライン（JRA GL-01）に従い、使用中の機器の漏えい点検を行い、早期に「漏えい」を発見・処理することで、冷凍空調業界の使命として、フロン漏えいを最小限に抑え、地球温暖化防止への寄与を業界上げて取り組むものです。

また、このフロン漏えい点検資格者制度は、使用中の業務用冷凍空調機器（冷媒一系統当たりの充てん量のCO<sub>2</sub>換算値が6トンを超える機器）の漏えいを点検するための資格であり、当該機器所有者の事前打ち合わせから、実際の漏えい点検作業、点検結果の記録、報告までを適切かつ確実に実施する者を日設連が認定するものです。

現在、社会的な要請として、行政からも漏えい防止の管理には、より高度な技術的知見を有することが求められており、当該資格を取得するには、上記規程に定められた講習を受講し、修了考査に合格する必要があります。

鹿児島会場は、実質的に講習会の運営等について協会が担当いたしました。多くの受講者があり、真剣に受講していただき、有難うございました。また、先日受講者全員の合格が発表されたところであり、おめでとうございます。

なお、本会報の最終頁の「冷媒フロン類取扱技術者」制度の創設にありますように、『第一種冷媒フロン類取扱技術者（仮称）』に移行する予定ですが、日設連では漏えい点検資格者に対して不利益や新たな負担のないよう、詰めを行っていると考えております。



# 会社紹介

株式会社九電工 鹿児島支店

## 【会社概要】

執行役員支店長：城野 正明

事務所：〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1-1

電話：099-256-2161

FAX：099-256-6469

事業内容：電気設備工事、空調衛生設備工事、配電線工事、情報通信設備工事、プラント設備工事、環境設備工事、防災設備、エコ関連事業・省エネ計画、新エネルギー、メンテナンス業務、エネルギー管理支援サービス

1944年、配電線および屋内線の電気工事会社として創立。1964年には全国に先駆け空調管設備工事に業容を拡大。

その後も時代の変化に応じ、環境設備、エネルギー利用効率化、情報通信、リニューアルなど成長分野への経営多角化に取り組んできました。さらには防災システムや医療画像遠隔診断支援サービス、自然エネルギーを利用した風力・太陽光発電システム、エコロジーなど、地域社会や人々の生活に密着した事業展開を進めています。

# 会社紹介

大成空調株式会社

## 【会社概要】

代表取締役：下柿元 修

事務所：〒890-0034 鹿児島市田上6丁目14番12号

電話：099-285-5411

FAX：099-285-5412

設立：昭和50年12月17日

事業内容：空調設備、換気設備設計施工  
各メンテナンス

技術者：1級管工事施工管理技士	4名	1級冷凍空気調和機施工技能士	3名
2級冷凍空気調和機施工技能士	2名	第3種冷凍機機械責任者	3名
冷媒回収技術者	3名	基幹技能者	2名
第2種電気工事士	1名		



昭和50年12月17日に設立創業し、現在に至る。

「空調、換気設備の設計施工、メンテナンスを通じてお客様の幸せを、創造し地域社会の発展に貢献する」という企業理念を、掲げ日々頑張っております。



# 会社紹介

## 株式会社 大興空調システム

### 【会社概要】

代表取締役：栢木 良一

事務所：〒893-0023 鹿屋市笠之原町2958番地3

電話：0994-44-5709

FAX：0994-44-5743

設立：昭和54年3月

事業内容：空調設備工事 電気工事 水道工事 土木工事

有資格者：1級管工事施工管理技士	4名	第2種冷凍機械責任者	2名
1級電気施工管理技士	1名	第3種冷凍機械責任者	1名
1級配管技能士	1名	給水装置主任技術者	1名
1級冷凍空調和施工技能士	1名	排水設備主任技術者	1名
2級冷凍空調和施工技能士	1名	フロン漏えい点検資格者	1名
2級管工事施工管理技士	3名	フロンガス回収技術者	3名
2級土木施工管理技士	3名	消防設備士	1名
第1種電気工事士	4名	測量士	1名
第2種電気工事士	3名		



大隅半島を主体として、空調工事全般の業務を行なっております。

今後も地域密着型の会社として、お客様の要望に応じて参ります。

# 会社紹介

## 株式会社 ゲン冷熱

### 【会社概要】

代表取締役：山元 満

事務所：〒899-5104 霧島市隼人町野久美田304番地

電話：0995-43-2361

FAX：0995-43-5819

設立：昭和59年3月

事業内容：空調設備工事 換気設備工事

昭和53年個人事業者として創業し、昭和59年3月(有)ゲン冷熱工業に、平成14年11月(株)ゲン冷熱に変更し、現在に至っている。

主に、始良、霧島、大隅方面で業務を行っており、地域に密着した会社として、営業を続けております。

会社のモットーは、お客様の声にすぐに対応して、行動できるような親しまれる会社であるよう努力してまいります。

## 新しい資格「冷媒フロン類取扱技術者」制度の創設

フロン類の製造から廃棄までのライフサイクル全体を見据えた包括的な対策を講じることとし、平成25年6月に「フロン類の使用の合理化及び管理の適正に関する法律」が公布され、現在、平成27年4月の施行に向けて、法律の実効性を確保するため政省令等の具体的な検討が行われているところであります。

とりわけ業務用冷凍空調機器からの“冷媒漏えい”問題は地球温暖化防止の観点から、国内外でも大きな問題として取り上げられており、冷媒の適切な管理を図るため、JRECO、日設連、日冷工の冷凍空調業界3団体では、据付・使用・整備において保全技術の未熟などから生じる機器使用時の“冷媒漏えい”事象は看過できない喫緊の問題であるとし、業界として取組を進めることとされた。

この対応策として、業務用冷凍空調機器への冷媒の充填から整備、定期点検技術、漏えい予防保全、機器の廃棄にわたって十分な知識を持った技術者の育成が必要であり、現在、日設連が認定する「漏えい点検資格者」を『第一種冷媒フロン類取扱技術者（仮称）』とし、これに準ずる資格『第二種冷媒フロン類取扱技術者（仮称）』を新たに創設する資格制度を、平成26年6月（予定）よりスタートさせることになりました。

つきましては、業務用冷凍空調機器の据付け、点検・保守サービスに携わる冷凍空調技術者でRRC登録冷媒回収技術者の資格者等の皆様には、本資格の取得について検討くださいますようお願い申し上げます。

なお、第二種冷媒フロン類取扱技術者（仮称）資格の詳細や資格取得のための講習会の実施・受講申込方法等については、JRECOのホームページ等でお知らせする予定です。

## 冷凍空気調和機器施工技能士試験準備講習会

### ～資格取得を目指して～

- ◇研修日 平成25年12月7日（土）  
8日（日）
- ◇場 所 ポリテクセンター鹿児島
- ◇受講者 1級 2名、2級 4名
- ◇講 師 萩原先生（ポリテクセンター鹿児島）

今回の講習会には、6名の参加があり、全員が資格取得に向け2日間熱心に受講されていました。

なお、本番の検定試験は、学科が2月2日（日）、実技が1月19日（日）に行われました。

## 表 彰

### 鹿児島市技能功労者表彰

（敬称略）

- (1) 日時 平成25年11月18日（月）
- (2) 場所 城山観光ホテル
- (3) 被表彰者  
福本 洋一（㈱フジヤマ）  
小川 福二（メイワ冷熱工業㈱）  
大藪 孝公（㈱九州日立鹿児島支社）

発行日 平成26年2月10日発行

発行所 〒890-0064

鹿児島市鴨池新町6番6号

一般社団法人 鹿児島県冷凍空調工業保安協会

TEL (099) 254-3948

FAX (099) 258-4839